事。(兵庫県・予定)住宅街からの清水導水路構築工

2019 年度

2019.7

(境界石のステー

による連結工事) 境界石流失対策

復旧作業台風・大雨による境界石流失と

2018.6-9

資材販売、搬入協力依頼。資金確保。地元石材店への兵庫県助成事業申請による

構築工事地元有志によるビオト

2018.5

4

2018.5

実験実施雨水渠の水を高水敷に引き込む

4

2017年度



2018年5月 構築メンバー募集チラシ

計画承認・助成

【兵庫県 神戸県民センター】

2018年7月 大雨増水で境界ブロックが流失

# 実施体制・スキーム



2018年5月 構築作業

企画・設計・運営

【福田川クリーンクラブ】

・プロジェクト推進

・土木工事設計



構築

### 構築協力

【地元選出議員】 【(有) 松下石材】

- ・境界ブロックの選定アドバイス
- ・納品、搬入支援

### 【流域環境保全団体・市民・学生】

- ・垂水好っきゃねん!クラブ
- ・神戸工業高等専門学校学生
- ・一般市民
- ・福田川クリーンクラブメンバー



# 汽水域ビオ 全国でも珍

ビオト 3 0 0 × 1 満潮時には完全に海水に浸かりまメートルの垂水区の中心部付近に ープは、 清水が流れこむ高水敷には葦 大阪湾に臨む河口 から

ビオト

# 経緯・目的

た川を、 親水空間を作りた き水を高水敷でせき止め、 地から雨水渠を通して流れ込む豊富な湧 にしたい!」 ム」を開催し、「コンクリー 2016年3月に「福田川再生フォ ンクラブを中心とする地元の有志が ・川原橋ビオト 6年頃から企画・設計。 人や自然の生き物にやさしい川 のメッセージを採択。住宅 いとの思い 市民の手で を福田川ク トに囲まれ

た。

しかし、

行政の理解を取り付けて、

民の立入りが厳しく制限されていま

高水敷は県の管理で、

安全や防犯上、

# 地域住民の関心

ビオト・

の協力の下、ビオトーせき止める堰を設計、

地元の石材店など プの構築にこぎ着

もたちが濡れずに観察できる通路や水を 市民の水道工事や土木の専門家が、子ど

けました。

や、投棄ゴミや漂着ゴミが目に付 介する看板を設置して欲しいとの要望 高まる川への ープの水が濁ると、 ープ完成後は、 生き物を案内、 市民から県の当 紹

る程度海水にも耐えられることをビオニの隠れ家となっています。メダカがあなどの草が生い茂り、メダカやモクズガ プ構築を通して知りまし

兵庫県/福田川 ふくだがわ ビオ 都市 河

の

高水敷における



福田川水系福田川 【執筆者】 村上健一郎(福田川クリーンクラブ 会長)

【河川名】

**Collaborative Nature Restoration** 

台風被災後の修復作業の様子

政機関と協議を続けていきます。

されているゴミを念入りに回収し、 毎月第二日曜日、 維持に努めて 道路側溝から流れ着いたり投棄 ンクラブのメン 環境

■ 現場のキーパーソン

## 村上健一郎さん 福田川クリーンクラブ会長

地道だが辛くもあるクリーン活動を持続させて川の環境を 良くして、活用しやすくするためには、地域住民をはじ め、自治会などの住民団体、学校、行政、議員団体、地



元企業の巻き込みが必 要不可欠と考え、本業 のシステム・インテグ レーターにおけるプロ ジェクト推進スキルを 活用。メンバーが提案 したビオトープ構築企 画を具体化。行政等に 働きかけて、プロジェ クトを実現しました。

した。の姿も、 ビオト 込む市民や、 つくようになり するようになり、 ■多数のメダカのほか、 タガメなどの水生昆虫が多数生息 当り前に見られるようになり プに入り生き物を観察する親子 - プの上で足を止 休日には網とカゴを片手に それを狙った水鳥も居 カエル、 め川 をのぞき モクズ

台風による出水でビオトープの敷石が移

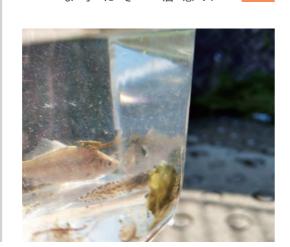
水で施設が壊れた後は

したり植生が流出した場合は、

かます。ヨート・有志メ

ーで修復作業を行って

プの維持に向けて、





ボーイスカウト・ビーバー隊の生き物観察会

構築していますが、

観察者が水に濡れず

ープは高水敷のコンクリ

に観察が行えるように、

コンク

65kg の地先境界ブロックで弱点を補強



た。ビニー

ルホースは、

多雨時には、

管

メンバーが川横に引き上げて、

流失を

います。

き水を、

ビニー

ホースで分水して、

-プに引き込むように工夫しま

横の土管から絶え間なく流れ出て

わき水の導水とコンクリート製のスレート蓋

環境です。

ビオト

- プの堰として

流からの草木に高水敷が覆われる厳しい

は海水に浸かり、

大雨の際には濁流や

福田川下流の汽水域に位置

満潮時に

30㎏の地先境界ブロックを用いました

8年夏のたび重なる大雨、

台

た。さらに、

2 0 1

9年には65kgのブロッ

65kgの地先境界ブロックに置き換えまし

風で一部流失するに至ったため、

弱点を

ク同士も平形金具、

アンカ

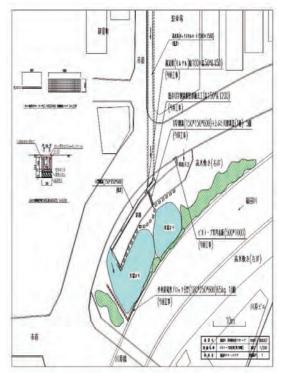
しました。おかげで、 流失が無くなりました。

# 使用材料・工具・造り方

地先境界ブロック C型(約30キログラム)、地先境界ブ ロックB型(約65キログラム)、通路には側溝のコンクリー ト蓋を使用、平形金具、アンカー、ボルト、暫定的導水路 にはビニールホースと塩ビ管を使用。



地先境界ブロック 65 キログラム級を平形金具、 アンカー、ボルトで連結



2017年度作成 構築案図面

71 Collaborative Nature Restoration